

健康リスクのない ワクチン後遺症対策

最新科学が導く、自然治癒への道標

- mRNAワクチン後遺症の改善へ
- 副作用ゼロの天然アプローチ
- ビタミンD × マッカロープロトコル



深刻な栄養不足

心筋炎患者の驚愕のデータ (Tsang氏ら 2025年)

- 急性心筋炎患者の **73.3%** がビタミンD不足
- 胸痛を訴えた患者の **88.3%** が不足
- ICU入院患者の **30%** で明確な栄養不足

外的な要因ではなく、
体内の「基本栄養」が鍵だった！



96%がビタミンD欠乏

慢性疲労症候群（CFS）の真実

- ワクチン後CFS患者の **96%** が栄養不足（マッカロー財団 2025年3月）
- 日本人の **約98%** も不足傾向（東大大学院調査）

適切な療法での驚異的な回復率

- **82%** がCFS診断基準から外れるまでに回復！
- 睡眠障害改善 **71%** / 自律神経改善 **68%**



炎症を抑え込む

ビタミンDが心臓の細胞を守る仕組み

- ① 免疫調整機能が働き、炎症性サイトカインを抑制
- ② NK細胞(ナチュラルキラー細胞)の暴走をストップ
- ③ 神経系の炎症を鎮め、自律神経を正常化

血中濃度 50nmol/L以上
で心損傷マーカー(トロポニンT)が低下



原因物質を分解

解毒の救世主：マッカロープロトコル

- ・体内に残存する「スパイクタンパク」を物理的に分解・排除

3つの天然成分の相乗効果

- ・ナットウキナーゼ&ブロメライン (分解・血流改善)
- ・クルクミン (抗炎症・組織修復)

+αの力

- ・ビタミンC併用で酸化ストレスに対抗 (2026年2月発表)



毎日の日光浴

UVBを浴びて皮膚でビタミンDを生成

季節の目安（正午前後）

- ・夏：5～10分程度（直射日光を避けた涼しい時間帯）
- ・冬：30分～1時間以上

地域別の冬の目安（顔・両手露出時）

- ・那覇：約7～8分
- ・つくば：約22分
- ・札幌：約76分以上（食事・サプリ併用推奨）

注意：窓ガラス越しはNG。日焼け止めの塗りすぎに注意。



食事で補う

天然のビタミンDを取り入れる工夫

推奨食材（成人目安量 5.5~8.5 μ g/日）

- 青魚：鮭（20~30 μ g）、サンマ、イワシ、サバ
- きのこ類：干し椎茸、キクラゲ（紫外線で栄養UP!）
- 動物性食品：卵黄（2~5 μ g）、乳製品

吸収率アップの秘訣

- 油と一緒に調理する（脂溶性のため）
- カルシウム（小魚・緑黄色野菜）と一緒に摂取



安全な補充

足りない分は高品質なサプリメントで

推奨量：400～800IU/日 (10～20 μ g) からスタート

・天然型 (D3：コレカルシフェロール) が吸収に優れる

安全に続けるための3ステップ

- ① 医療機関で血液検査 (25(OH)D値を測定)
- ② 目標値 30ng/mL以上を目指す
- ③ 医師・薬剤師に相談し、過剰摂取を防ぐ



明るい未来へ

健康な日常を取り戻すためのFAQ

- Q. 日本人は本当に不足している？
→ A. はい。約98%が不足傾向にあります (東大調査)。
- Q. ナットウキナーゼは本当に効く？
→ A. スパイクタンパク質を直接分解する効果が証明されています (PubMed)。

「新しい科学の知見を取り入れ、能動的に体内の浄化を。
あなた自身の生活と健康を守る一歩を踏み出しましょう！」

